※令和３年度以前入学生用

学校番号	T3014

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	現代文Ａ　（大修館書店）						
副教材等	ワークシート等						

1　担当者からのメッセージ

・評論・小説・詩歌などの作品に触れ、自己の世界観を広げるとともに読解力と観賞力を身に付けてください。
・話し合いや文章記述、発表など、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。
・様々な文章から「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・現代文学作品を通して、日本文化の特質を学びましょう。
・遅刻や欠席、授業を受ける態度など日々の学習を大切にしましょう。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:読む能力	c:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４ 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期	評論の内容を理解するⅠ	【随想・評論】 意見や感想を読み、それをきっかけに自分の考えを創り出す 教材: 「〈迷う〉力のすばらしさ」 ワークシート	○	◎	○	a:考えの進め方や文章の筋道を的確にとらえようとしている。 d:考えの進め方や文章の筋道を的確にとらえようとしている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a、d: 行動の観察と確認及び記述の点検 e:記述の点検及び定期考査
	評論の内容を理解するⅡ	【随想・評論】 社会における価値観や人生を豊かにする方法などを考える 教材: 「幸せの分量」 ワークシート	○		○	a: 考えの進め方や文章の筋道を的確にとらえようとしている。 c:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書いている。 e:書くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a、c: 行動の観察と確認及び記述の点検 e:記述の点検及び定期考査
	言語と文化を考えるⅠ	【随想・評論】 言語と文化の関わりを通して、文化の差異と日本文化の特質をとらえる 教材: 「排球、そして千利休」 ワークシート	○		○	a:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書こうとしている。 c:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書いている。 e:書くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a、c: 行動の観察と確認及び記述の点検 e:記述の点検及び定期考査
	言語と文化を考えるⅡ	【随想・評論】 言語と文化の関わりを通して、文化の差異と日本文化の特質を考える 教材: 「敬語への自覚、他者への自覚」 ワークシート	○		○	a:考えの進め方や文章の筋道を的確にとらえようとしている。 b:話すこと・聞くことに必要な文の組立てについて理解している。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a、b: 行動の観察と確認及び記述の点検 e:記述の点検及び定期考査

※令和３年度以前入学生用

前期	言語と文化を考えるⅢ	【随想・評論】 言語と文化の関わりを通して、文化の差異と日本文化の特質を理解する 教材: 「文化と理解」 ワークシート	○	◎	○	a:考えの進め方や文章の筋道を的確にとらえようとしている。 d:考えの進め方や文章の筋道を的確にとらえようとしている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a、d: 行動の観察と確認及び記述の点検 e:記述の点検及び定期考査
	詩歌を味わう	【小説・詩歌】 明治以後の言語文化としての詩歌に触れ、心情を豊かにする 教材: 教科書に掲載された詩・俳句・短歌作品 ワークシート	○		○	a:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 b:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さを自分なりにまとめている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a、b: 行動の観察と確認及び記述の点検 e:記述の点検及び定期考査
後期	小説の内容を理解するⅠ	【小説・詩歌】 小説の構成、登場人物の心情、人物像などをとらえ、小説を読み味わう 教材: 「ざしきわらし」 ワークシート	○	◎	○	a:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a、d: 行動の観察と確認及び記述の点検 e:記述の点検及び定期考査
	小説の内容を理解するⅡ	【小説・詩歌】 登場人物、心情、情景などの描写に注目し、特色をとらえる 教材: 「山月記」 ワークシート	○	◎	○	a:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a、d: 行動の観察と確認及び記述の点検 e:記述の点検及び定期考査

※令和３年度以前入学生用

後期	小説の内容を理解するⅢ	【小説・詩歌】 文豪の作品を通して、人生や生命、社会を考えるきっかけにするとともに、近代文学の普遍性を考える 教材: 「こころ」 ワークシート	○	◎	○	a:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a、d: 行動の観察と確認及び記述の点検 e:記述の点検及び定期考査
	評論の内容を理解するⅢ	【随想・評論】 情報化社会における言語の性質や情報のあり方を理解し、ものごとに対する見方を広げる 教材: 「情報の力関係」 ワークシート	○		○	a:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察しようとしている。 c:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察している。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a、c: 行動の観察と確認及び記述の点検 e:記述の点検及び定期考査
	評論の内容を理解するⅣ	【随想・評論】 現代社会を写した文章を通して、社会の傾向や変化に目を向け、生き方を考える 教材: 「家族化するペット」 ワークシート	○		○	a:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察しようとしている。 b:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察し、自分の意見をまとめている。 e: 話すこと・聞くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a、b: 行動の観察と確認及び記述の点検 e:記述の点検及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:読む能力　　c:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。